

# AMDAに支援金

加計学園

インド洋  
大津波  
学生ら75万円

岡山理科大などを運営する加計学園(加計孝太郎理事長)は9日、インドネシア・アチェ州でインド洋大津波の救援活動をしている国際医療援助団体「AMDA」(本部・岡山市櫛津)に活動資金75万円を寄付した。

加計学園の赤木靖春専務理事がAMDAの菅波茂代表を訪ね、「津波や新潟地震の被害を見聞きして、何かお手伝いができないかと思い、学生らから募金を集めました」と述べ、寄付金を手渡した。また、平津小学校(同)の児童らも約6万2100円の寄付をした。

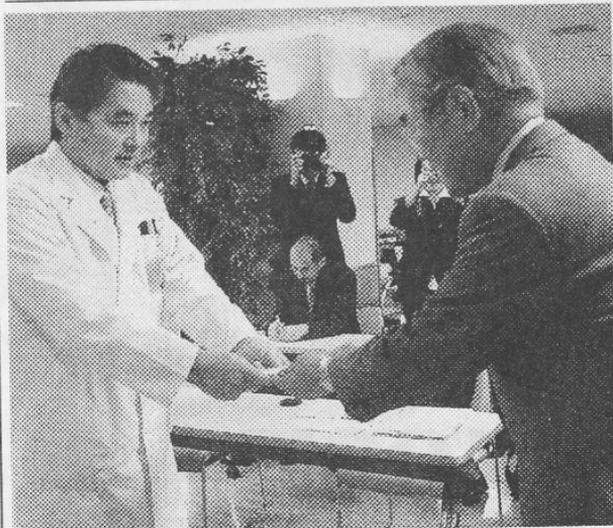
「アチェ州で医師  
看護師育成急務」

この日、AMDAの高

橋徳医師(54)がアチェ州で15歳以下の子ども1449人にはしかのワクチンを打ったり、薬を持って1544人の避難民らを巡回診療した活動を報告。「津波で現地の医師や看護師の多くが死亡した。AMDAのインドネシア支部長が教える大学

と連携し、1日に設立したアチェ支部で現地在住の医師や看護師を育成することが急務」と話した。

【山本芳博】



加計学園の赤木靖春専務理事(右)から寄付金を受け取るAMDAの菅波茂代表